番号	2180717	呼称	ヨミ　コナキジジ，ゴギヤナキ 児啼爺，ゴギや啼き

出典	書名・誌名　（ 3 巻 10 号／通巻 33 号） 民間伝承	執筆者 柳田国男	発行所 民間伝承の会
	論文名　（ 12 ）～（　　）頁 妖怪名彙 掲載箇所（ 12 ）～（　　）頁	話者・資料（引用）	発行年月日（西暦） S13 年 6 月 20 日 （ 1938 ）年

地域（旧名）	都・道 / 府・県	市 / 郡	区・町 / 村	採集年月日
徳島	（ 阿波 ）	（　　）	（　　）	

要約　コナキジジは山奥にいて、見た目は爺だが、赤子の泣き声をする。哀れに思って抱き上げると急に重くなり、はなそうとしてもはなせなくなり、最後には命をとられる。ゴギや啼きというのもコナキジジと同じだといわれており、ゴギャゴギャと啼いて山中をうろつく一本足の怪物で、これが啼くと地震があるといわれている。

コナキヂヂ　阿波の山分の村々で、山奥に居るといふ怪。形は爺だといふが赤兒の啼聲をする。或は赤兒の形に化けて山中で啼いてゐるともいふのはこしらへ話らしい。人が哀れに思つて抱上げると俄かに重く放さうとしてもしがみ付いて離れず、しまひには其人の命を取るなどゝ、ウブメやウバリオンと近い話になつて居る。木屋平の村でゴギや啼きが來ると謂つて子供を嚇すのも、この兒啼爺のことをいふらしい。ゴギャ〳〵と啼いて山中をうろつく一本足の怪物といひ、又この物が啼くと地震があるともいふ。